第５８号　２０２１年９月１日　国労鹿児島地区本部　発責　福田　公彦　☎099-254-0266

国労鹿児島

第３７回九州本部定期大会開催！

８月２８日鳥栖市サンメッセ鳥栖で第３７回九州本部定期大会を、コロナ禍という厳しい状況であるが、今後の運動の構築と団結強化、組織拡大に向け、全組合員が結集するために開催した。

大会は、古賀副委員長「赤字を理由に、経費節減の名のもとに、人員削減で権利と生活が奪われている　また、お客様への安全とサービスが低下している。申し入れを行い改善を進めなければならない。」の開催挨拶ではじまり、議長に博多地区本部の佐藤代議員を選出し大会を進行した。

はじめに、千々岩委員長より、①組織拡大②自然災害③労働条件改善④政治活動について、全力で九州本部は取組む決意の挨拶がなされた。

大会は、経過報告・決算報告・運動方針案・予算案の提起が行われ、７名の質疑の後、岩元書記長の集約後に承認された。

その後、新役員選出、大会宣言案承認、最後に、千々岩委員長の団結ガンバローで閉会した。

＊岩元書記長は、本部書記長に就任しました。九州の場から、皆で支えましょう。

集約される岩元書記長

丸山代議員発言

交渉を強化し、労働条件の改善を！

鹿児島地区本部の丸山です。地区本部として、具体的運動や行動が展開出来てませんが、交渉の経過と組織について発言したいと思います。

６月４日に「運転関係業務の効率化について」５項目の要求を行った。ご存じのように、再教育プログラムの見直しとスマートデバイスの活用により、指導の削減をおこなうものであった。地区本部としては、運転事故教育の期間等に明確な基準を示すべきであり、「報告を：事象」の現場長の判断についても明確なものがないと社員も不安であること、デバイスの活用でも、他に乗務指導、訓練など業務が多くあり、削減により指導の負担は増大することとなるので撤回されたいと求めた。

回答について納得できないことから、締結はしなかった　７月１６日には、ダイヤ改正後、職場環境について交渉を行った。

改正後交渉では、基本項目が５項目、鹿児島乗務センター車掌が、空転対策・伐採、行路変更、新幹線特改の中止等４項目、運転士が、行路変更等２項目、宮崎乗務センターが行路変更等２項目を行い具体的対策と変更を求めた。会社からは、伐採等については計画的に行う。行路等については勉強をしていくとの回答であった。

職場要求については、鹿児島乗務セターが乗泊への冷蔵庫の設置、スマートデバイス充電設備、エレベーターの使用の３項目、宮崎乗務センターは、スマートデバイス充電設備、車両へのアルコール消毒剤設置の２項目テレビ設置について２項目を突き付けた　スマートデバイス充電設備については、延岡乗泊、鹿児島中央駅休憩室を確認したが他については改善を図ることができなかった。

テレビ設置については、福利厚生には、法定内と法定ががあり、テレビは、法定外の中で、これまで既成事実として行われてきたことであり、経費節減で撤去することはおかしいと追及した。

テレビ設置については、乗務員の特殊業務を考慮して、あらゆる面から検討し再度会社へ要求するよう九州本部にお願いする。

８月２５日は、「入換業務の移管について」５項目あげ交渉し、移管の理由が明らかでないし、移管による改善等も明確になってない。また、関連会社の社員の雇用を奪うものであり問題があると追及した。

最後になりますが、組織の在り方について考える時期に来ているかもしれません。宮崎分会は２名、鹿児島分１４名です。全員６０歳以上という状況であることだけを述べて、発言とします。鹿児島地区本部も皆さんと共に頑張ります。

要求・交渉　団結